

アスリートとして、母として——。



デフカーリング選手であり、コーダ(ろう者から生まれた聴者の子)の娘を持つ
松橋早友梨選手の1年を追ったドキュメンタリー

DOUBLE ROLE

ダブルロール

松橋早友梨 松橋要 荒谷淳一 荒谷飛翔
横山結 那須映里 小川佳代

協力 日本カーリング協会 社会福祉法人大龍会 大和南保育園 青森県立青森聾学校 青森県立八戸聾学校

監督・編集 川西薫／企画・プロデューサー 池田めぐみ

撮影 岬康晟 黒柳雄太／制作 合同会社オフィスエーオー

製作 株式会社Dream Ship／後援 一般社団法人よこはまクリエイティブ財団

配給：アルファヴィル

©Double Role製作委員会

2022/日本/カラー/ビスタサイズ/ステレオ/43分



選手の顔、母の顔、妻の顔、妹の顔

その豊かな表情には、人が生きていく上で遭遇する悲しみ、喜びをありのまま受け入れた人が持つ強さを感じさせます。

(TAMA NEW WAVE 上映時 実行委員コメント)

全国でも 10 人ほどしかいない “ろう者のカーリング選手”

耳の聞こえない「ろう者」のカーリング選手（デフカーリング）である松橋早友梨選手の活躍を 1 年追ったドキュメンタリー。コーダ（ろう者から生まれた聴者の子）である娘の子育てをしながら、同じくろう者の兄と共に地方大会を勝ち抜き、全国大会への出場を決め、日本各地に遠征しながら練習を重ねている。本作は「デフカーリング選手」と「母親」という 2 つの側面から彼女の魅力を映し出す。監督は、数々の映画監督・脚本家を輩出している伊参スタジオ映画祭シナリオ大賞にて、2016 年に『子供は天使ですか』でグランプリを受賞した川西薫。本作で初のドキュメンタリーを手がけ、第 28 回あいち国際女性映画祭で審査委員特別賞・観客賞、TAMA NEW WAVE ある視点部門入選など、各地の映画祭で好評を博した。

なんてチャーミングな人だろう！

いろんな側面で未来に希望が差し込むのを、力強く感じさせてくれるドキュメンタリーだ。

(映画ライター／評論家 折田千鶴子)

<松橋早友梨 プロフィール>

1995 年青森県東北町出身。父の影響で中学 1 年生からカーリングを始める。2021 年、兄とペアを組み出場した関東ミックスダブルスカーリング選手権で準優勝。2024 年、第 20 回冬季デフリンピックにてカーリングミックスダブルスで銅メダルを獲得。

4 歳と 0 歳の 2 児の母でもある。



11 月 7 日(金)よりロードショー！

当日料金 (税込) : 1,000 円均一

*11/8(土) 舞台挨拶あり

登壇者 (予定) : 松橋早友梨、川西薫監督

JR 大森駅・東口 西友大森店 5F

キネ力大森

03 (3762) 6000 ttcg.jp

テアトルシネマグループ

キネ力大森

国際証券

朝日生命

東口

JR 大森駅